

Vol.
20

SUN サンライト LIGHT

冬号

発行日 平成8年12月
発行所 筑波茶崎霊園（水曜定休日）
所在地 茨城県稲敷市茶崎町若第500
電話 0298-76-3880



茶崎町観光写真コンクール 金賞「五月の涙」 高見澤在任 佐川博子さん

霊園の木シリーズ



どうどんつつじ（満天星）

ツツジ科の落葉かん木。春にスズランに似た白い可憐な花を咲かせる。秋には真っ赤に紅葉するところから庭木として古くから好まれ、茶人にも愛されてきた。

霊園にはメモリアルホール西側の生垣に植えられているほか、牡丹園内にも同様に植えられるなど多く見ることができる。

今年も余すところ20数日となりました。月日の経つのは早いものだと改めて痛感しております。サンライトも今回で20号となりました。ご愛読を感謝いたします。

この秋はいつになく紅葉の美しさが印象に残っています。園内の花木木、かえでやどうだんが色鮮やかでした。冬の訪れと共にメモリアルホール前の茶崎の蕾も膨らみ、中旬頃には初夏の牡丹とはひと味違った美しさをみせてくれることでしょう。牡丹といえは付属牡丹園では来年の園園に向けて現在増設工事を行っています。これが完成するとともに1800坪の花園が加わることになり、牡丹、芍薬のほか百合やつつじなどが植えられ観賞期間も長くなります。次号では詳しくお伝えします。ご期待ください。

ところで今回は1面と3面（常陸の園見たり聞いたり歩いたり）に掲載の写真を茶崎町観光写真コンクールの入選作品をお借りしてご紹介することに致しました。

このコンクールは茶崎町と同町観光協会の主催で行われ今回で第3回目と町の文化行事として定着して参りました。筑波茶崎霊園でも付属牡丹園が観光協会の会員として協力しております。今回は説者の皆様もご応募ください。（牡丹祭時に応募用紙が配られます）

町の文化行事の話題としてもうひとつお伝えすることがあります。来年2月6日（木）から16日（日）の期間、メモリアルホールギヤラリーにおいて「茶崎町創造展」が同町主催で開催されることになりました。この展覧会は茶崎町在住の6人の作家（洋画家3名と日本画家1名）の作品を集めて展示いたします。筑波茶崎霊園もこの始めての試みが成功するよう全面的な協力をしたいと考えております。是非、ご覧ください。（詳しくは茶崎町生涯学習課までお問い合わせください）